
日本放送協会 理事会議事録

(2019年11月18日開催分)

2019年12月 6日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

2019年11月18日(月) 午前8時30分～8時40分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、板野専務理事、
児野専務理事・技師長、荒木専務理事、松原理事、黄木理事、
中田理事、鈴木理事、松坂理事、正籬理事、坂本特別主幹
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

(1) 就業規則の一部改正について

2 報告事項

(1) 考査報告

議事経過

1 審議事項

(1) 就業規則の一部改正について

(人事局)

就業規則の一部改正について、審議をお願いします。

主な改正内容です。

毎月の単身赴任手当Bは、帰省の事実に基づいて支給することとし、このほか年2回の支給を行います。

また、処遇区分で異なっていた単身赴任手当Aの支給額を統一することとします。

改正の施行は、2020年1月1日とします。

本件が決定されれば、法令に基づき、労働基準監督署に届け出ます。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

2 報告事項

(1) 考査報告

(考査室)

2019年10月7日から11月12日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース18項目、番組65本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目として、東日本と北日本を通過した台風19号の影響で広い範囲で記録的な豪雨となり、関東甲信越や東北を中心に川の氾濫などが相次ぎ多くの犠牲者が出たこと、その2週間後の10月25日にも、低気圧の影響で千葉県や福島県などで大雨が降って犠牲者が出たこと、大学入学共通テストに導入される英語民間試験について、萩生田文科相の“身の丈”発言が問題となる中、来年度からの実施を延期することを表明したことなどがありました。

番組では、台風19号がもたらした被害の原因と防災上の課題などを緊急の特集として伝えた「NHKスペシャル『巨大台風“流域型洪水”の衝撃』」（総合・10月17日放送）、焼き物の里・信楽を舞台に女性陶芸家として道を切り開く一人の女性の物語を描く連続テレビ小説「スカーレット」の第1週と第2週（総合・9月30日～10月5日、

10月7日～12日放送)、仙台市で起きた母子無理心中事件で、娘のいじめを巡る学校とのやり取りについて亡き妻が綴った手記を読み返し、自らを問い直す男性の日々を見つめた「ストーリーズ 事件の涙『“170枚の日々”をたどる～仙台・母子心中事件～』」(総合・10月21日放送)などを考査しました。

地域番組では、75年前、多くの沖縄出身の民間人が犠牲となった南洋戦の実相に迫った「きんくる “悲劇”はここから始まった ～南洋戦と沖縄～」(総合・沖縄県域・9月20日放送)、アイヌの人たちの地位向上を巡ってのGHQとの交渉史などを発掘したドキュメンタリー「北海道スペシャル『アイヌとGHQ～マッカーサーの神棚の謎～』」(総合・北海道ブロック・10月4日放送)などの番組を考査しました。

また、国際放送「NHKワールド JAPAN」では、ニュース5項目と番組2本の考査を実施しました。

大型で非常に強い台風ハギビス(19号)については、ラグビーワールドカップなどでの訪日客も意識して、「NEWSLINE」(日本時間10月11日～15日・17日)の放送に加え、インターネットでも詳しく伝えたこと、日本の職人の技や哲学をノーナレーションで伝えるシリーズの2本目、線香花火製作を追求する職人家族を4K収録で描いた「A Treasured Creation “Senko Hanabi” Sparklers」(日本時間10月16日放送)などです。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

(正籙理事) 台風や豪雨の対応では、河川の被害状況などを掲載した特設サイトに多くのアクセスがありましたが、事前にサーバーの増強を行ったことなどにより、問題なく情報を提供することができました。公共放送から公共メディアへの進化を目指す中、このようなデジタル展開が、どのように視聴者のお役に立ったのかを含めた視点を持つことは大切だと思います。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

2019年12月 4日

会 長 上 田 良 一